令和7年度 野外活動体験(夏キャンプ)実施報告

1 日 時: 令和7年7月26日(土)~27日(日)2 場 所: 熊本市立金峰山自然の家 ヤマガラビレッジ

3 主 催 : 熊本市子ども会育成協議会



スタッフ : ジュニア・リーダー (JL) ・・・・ 中学生6人、高校生7人、計13人

ユース・リーダー (YL)・・・・ 大学生3人、社会人6人、計 9人

会長・理事・事務局 8人(内1人は日帰り2日、3人は1日目のみ)

合計70人(内宿泊者は66人)

5 目標・スローガン: 自然の中で最高な仲間と最高な冒険へでかけよう

6 日程概要

26日(土)	27日(日)
9:30スタッフ現地集合 10:00 現地集合 受付 10:20 入所式/・オリエンテーション 10:40 活動1 自己紹介・旗の完成 11:30 昼食(アレルゲンフリー 他も同じ) 12:20 レクリエーション 13:00 チェックイン(入室) 13:30 活動2 クラフト・竹ぼっくり 15:40 キャンドルの歌の練習・準備 17:30 夕食 18:30活動3 キャンドルのつどい 20:30 入浴 21:30 リーダー会 (就寝準備) 22:00 就寝	6:30 起床、 7:00 朝のつどい 7:30 朝食準備・朝食(カートンドッグ) 8:30 部屋掃除・退出準備 9:00 部屋点検 9:20 チェックアウト(退室) 9:30 活動4 ハイキング《白コース》 10:30 休憩 11:30 昼食 12:30 レクリエーション 13:15 活動5 熊本城廃瓦ペイント 14:10 活動6 振り返り アンケート 14:45 退所式 15:00 現地解散解散

- ジュニア・リーダーは1日目、9時半前には全員集まり、受付の準備の後、 スタッフノート等で 日程を確認したり、打合せをしたりして、新しくなった 自然の家での 活動が始まりました。
- 活動1の自己紹介、班の旗作りや、レクリエーションで、キャンパー、 スタッフ共に打ち解けて 和やかなスタートでした。
- 今年のクラフトはJL定例会での提案による「竹ぼっくり」作りと会長が準備した「バターナイフ」、「木のキーホルダー」作りでした。
- 竹ぼっくり用の竹は、裏の竹林のモウソウ竹を自然の家職員や、市子協理事の支援の元に皆で切って、 見いまま ロッシュスト ロッシュスト 担いできました

って、長いままワッショイ・ワッショイと担いできました。 このことでも、班員としての絆が深ま ったようでした。竹 が太く、竹ぼっくりの長さに2個切り取るのは、子どもたち にとって大変でし た。しかし、貴重な経験が出来たと思い ます。出来上がった竹ぼっくりを早速履いていました。

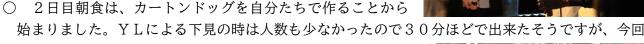




○ キャンドルのつどいは、第1部は厳かに火を灯し、各班代表が誓いの言葉を延べ、キャンプの歌 で締めくくられました。 第2部では一転して元気にレクリェーションを行いました。

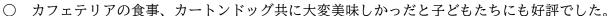
第3部は静 かに心を落ち着かせて終了しました。

○ チーフJLが堂々とエールマスターを務め、皆が楽しく、 思い出に残るキャンドルのつどいになったことと思いま す。楽しかったことのアンケートで多くのキャンパーがキャ ンドルのつどいを上げていました。



は大人数でもあり、予定時間をオーバーしました。そのため、 退出準備、部屋点検が遅れました。 チェックアウトの時刻 設定をもう少し遅くすべきでした。

- 活動4のハイキングは、途中のチェックポイントのYLの 働き、終盤の地点で自主的にクーラー ボックスに冷たい飲 み物を用意して給水された理事に感謝します。お陰で暑い中、 そして虫も多か ったが、全員元気に無事ゴールしました。
- 活動⑤の熊本城廃瓦ペイントでは2016年4月14日、 16日の熊本地震によって落ちた熊本 城の瓦にポスターカ ラーで、思い思いの絵や、文字を描きました。瓦片の大きさ ・形は様々ですが、 子どもたちは形の特長を見事に活かし て、面白いデザインにしていました。



- 体調不良で1人が早退しましたが、元々悪かったようでし た、他は全員、元気に過ごしました。○ J L が決めたスロ ーガン「自然の中で最高な仲間と最高な冒険へでかけよう」 は皆の協力で達成 されたと思います。
- 解散の際に混雑が予想される入口の道路、駐車場にYL・ 理事が配置について、迎えの車を上手 く誘導し、次に乗り 込むキャンパーなどを早めに呼び出して解散が大変スムーズに行われました。
- 計画の段階から協力されたヤマガラビレッジの職員の皆 様、計画・運営・実動したJL・YLの 皆さん、活動を支 援された役員・理事の皆さん、元気に・楽しく参加したキャン パーの皆さん、そし て、飲み物・利用割引券などを提供し て頂いた企業の方々など、関わられた全ての皆様に感謝いた します。

























